



F - Release

エフ・リリース
NPO 法人 ふじ環境倶楽部 情報誌
VOL. 15 2005.1月 発行

NPO 法人 ふじ環境倶楽部は、市民・企業・行政のパートナーシップを基本としながら、

- 富士地域の自然及び社会的資源の掘り起こし、磨き上げ
 - 地域資源を活用したまちづくり計画の策定、まちづくり活動の実践
 - 市民団体相互のネットワークの構築 等
- を通じて、市民がこの地域で誇りを持って働き、暮らしていける「資源循環・環境共生型のまちづくり」を目指して、楽しく、ゆっくり、着実に歩んでいます。(平成12年11月9日法人として設立)

◎平成16年を振り返り平成17年に思うこと

代表 小池 智明

新年明けましておめでとうございます。ふじ環境倶楽部の事業年度は変則で、7月から翌年6月末までなので、12月でちょうど16年度の半分が終わりました。振り返って一言で言うと「中だるみ」かな？。でも皆さんの日常の仕事のハードさを考えると、「身の丈」に合った活動だったのかも？

6月末の総会でも確認しましたが、本年度は倶楽部の原点とも言える「田宿川」との関わり方を、再度皆さんと考え、活動していきたいと思えます。

その意味では3月5日(土)の制水工づくり、6日(日)の田宿川川そうじはキーになる取り組みです。目先の話で恐縮ですが、多くの会員、知り合い、そのまた知り合いの方の参加をお待ちしています。(改めてご案内させていただきます。)

◎16年度下期の活動あれこれ

●富士市子ども交通まちづくりプラン

日時：10月16日(土) 8:30~15:00

「1 Day Trip チャレンジャー」

広報ふじ(11/5 NO.859号)の表紙を飾るなど大きく紹介された。7チーム、約50名の子供達が参加して、制限時間内にいかに多くの公共交通機関を利用できるかを競い合った。結果、栗原隊長率いる「橙Fujiまる隊」が優勝を勝ち取った。

普段なかなか利用することがない、ひまわりバスをはじめとした路線バスや身延線、岳南鉄道などに乗車でき、子供達も大喜びでした。

対応者：小池 加藤 太田 渡辺 山田 栗原



●富士学会第2回研究発表会

市民実行委員会へ中山 鈴木(澄) 加藤 小池 栗原 参画

日時：平成16年10月23日(土) 10:00~17:00

・研究発表「富士山わくわく体験」 小池代表

・スタディツアー(ふじ環境倶楽部はBコースを担当)

日時：平成16年10月24日(日) 9:00~17:00

Bコース「湧水と伝統の富士を巡る」

対応者：渡辺 栗原



●富士TMO構想策定委員会

事務局：富士商工会議所（商業観光課）

目 的：富士市の中心市街地の活性化を考える

委 員：小池代表

部 会：佐野 栗原

11月22日の第2回委員で富士地区と吉原地区、各々の作業部会から検討結果と今後の方向性が発表され、来年の具体的動きが確認された。

富士駅周辺地区 ・「健康印」商店街の実現に向けた個店の動機付

・「健康印」関連イベントの実施 ・「健康印」の拠点づくり

吉原地区 ・TMO 運転資金の確保 ・べんりなまち事業

・繁盛店一本釣り事業 ・吉原宿再生事業

●水郷水都全国会議

期 日：平成16年11月27日（土）・28日（日）

場 所：浜松市野口町 静岡文化芸術大学

参加者：杉本富士市出納室長（ふじ環境倶楽部名で出席）

内 容：大会テーマ「未来に残そう、美しい水環境」

水環境に関わる様々な問題を抱える全国市民と交流を深めるとともに、互いに知恵を出し合って問題の解決につなげる。特に「水問題への取り組みを次の世代にどのように伝えられるだろうか？」を大きなテーマとした。

基調講演「水が育む人と文化」

静岡文化芸術大学 木村尚三郎学長

記念講演「水郷水都全国会議 20年の活動の意義」

千葉大学 木原啓吉名誉教授

記念シンポジウム「水郷水都全国会議 20年の成果と課題」

●掛川市生涯学習講座「とはなにか学舎」での講演

期 日：12月8日（水）19：00～21：00

場 所：掛川市生涯学習センター

参加者：小池代表

内 容：「地域資源を活用した快適環境づくり」をテーマに、環境倶楽部の取り組みを紹介した。人口8万人の小都市ながら、かつては「生涯学習」を、近年では「スローフード」（地産地消）を切り口に、全国に先駆けたまちづくりを進めている掛川市であり、講座の運営は前年度受講した市民が中心になって進めているのが印象的だった。

●みなとまちづくり基本構想

目 的：港を産業物流以外の市民生活に密着したまちづくりや観光交流振興の視点から評価するとともに、このようなまちづくりなどに活用できる空間を積極的に活用整備し、地域の個性ある発展を図っていく。

事 務 局：富士市商業労政課

実施時期：平成20年代

参 加 者：委員 太田

市民代表 栗原

11月17日（水）と12月2日（木）の2回の市民代表意見交換会の検討内容を受けて、12月17日（金）に第2回調査検討委員会が開催された。

大きく6つの地区「シンボル緑地」「漁港周辺」「フェリー跡地」「依田橋地区」「管理事務所周辺」「鈴川海岸」に分けて、できることから始めていく。

また、来年度は第2回「日本ぐるっと一周・海交流」を「みなとまちづくり基本構想」の一部と位置付けて計画を検討していくこととしたい。

●吉原中央駅循環ひまわりバス体験試乗会&忘年会

日 時：平成16年12月18日（土）16:30～19:30

参加者：小池 加藤 太田 渡井 杉山 渡辺 栗原

特別参加者：井出 古賀 福島 東方

県内マイカー所有率トップの富士市の公共交通機関のありかたを考えるひとつのきっかけとして、12月13日から新しく運行開始した「吉原中央駅循環ひまわりバス(ポンチョ)」に体験試乗を行いました。

その後は、吉原本町の串特急で飲み放題忘年会をにぎやかに開催しました。その後の二次会、三次会…の様子をご想像下さい。



事務局 〒417-0815

富士市増川19-1

TEL. 0545-38-0088

FAX. 0545-39-0057

E-mail: adism@tx.thn.ne.jp

特定非営利活動法人 ふじ環境倶楽部